

## 弟子とされた者の喜び

(ルカ10・17～20)

## 一、七十二人が経験したこと

17節に、**へさて、七十二人が喜んで帰って来て言った。「主よ。あなたの御名を用いると、悪霊どもでさえ私たちに服従します。」**とあります。ここに記されている七十二人は、主イエスによって遣わされた弟子たちでした。10章1節に、事の発端が書かれています。**へその後、主は別に七十二人を指名して、ご自分が行くつもりすべての町や場所に、先に二人ずつ遣わされた。」**とあります。七十二人は、主イエスが行くつもの場所に、予め二人ずつ遣わされた弟子たちであったことを知ります。その七十二人の弟子たちが、喜んで帰って来て、主イエスに報告しているのです。弟子たちのことばからは、「先生。先生のお名前を使ったら、悪霊は服従しちやっただんです」という、驚きと喜びのニュアンスを受けることができます。悪霊が服従するとはどういうことでしょうか。たとえば、長い間病に縛られていた人がそれから解放されたことが考えられます(↓ルカ13・10～17)。あるいは、悪霊につかれてた人が悪霊から解放されたことが考えられます(↓ルカ8・26～39)。まさしく、主イエス

の名を用いることによって悪霊どもが服従した出来事です。

## 二、七十二人の派遣に思う

なぜ、ルカはこのような記事を書いたのでしょうか。七十二人の派遣については、マルコとマタイにはないので、ルカの福音書の特殊資料と言うことになりそうです。理由として考えられるのは、この記述が、ルカが属する教会において必要であったことです。

ルカが福音書を発行した時点において、教会は異邦人が中心となっていましたから、信者は週の初めの日(＝日曜)の夜に集まり、集会を持っていました。ですが、教会は集まって礼拝を献げることも然る事ながら、それだけが目的ではないことを知る必要があります。

主イエスを信じている私たちは、ふだん居る職場であれ、家庭であれ、あるいはレクリエーションで出かけて行ったとしても、そこは主が遣わされた場所です。その意識を持つことが必要です。私たちは、集まって礼拝を献げては派遣されるのです。主イエスが七十二人を派遣されたのは、主イエスがご在世当時のことばかりでなく、その後も続きました。福音書に記されている弟子たちの姿は、主イエスご在世同時に主が遣わされた出来事であったと同時に、その後も続いて行ったことを知る必要があります。だからこそ、主はおっ

しやいました。(ルカ18・29～30)イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。だれでも、神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子どもを捨てた者は、必ずこの世で、その何倍も受け、来たるべき世で、永遠のいのちを受け取ります。」と。キリストを信じるとは、信じたときから派遣されているのです。これを知りますと、自分たちがそれぞれの場所に置かれている意味が見えてまいります。

## 三、弟子とされた者の喜び

最初の聖句に戻りますが、17節です。**へさて、七十二人が喜んで帰って来て言った。「主よ。あなたの御名を用いると、悪霊どもでさえ私たちに服従します。」**とあります。自分たちが病人に手を置くことによって病人がいやされ、あるいは悪霊や悪い習慣に縛られている人が解放されたり、それはそれは嬉しいことです。主イエスは、七十二人の報告を聞かれておっしゃいました。18節です。**へイエスは彼らに言われた。「サタンが稲妻のように天から落ちるのを、わたしは見ました。」**と。これは、終末の出来事を先取りして語られたものと思われま

す。次に、19節をご覧ください。**へ確かにわたしはあなたがたに、蛇やサソリを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けました。ですから、あなたが**

たに害を加えるものは何一つありません。」とあります。これは、18節で語られている「サタンが稲妻のように天から落ちる」(この結果として、信じる者にもたらされる約束です。悪魔の働きを甘く見ることはできませんが、恐れする必要はありません。キリストを信じる者には神の権威が与えられており、打ち負かされることはないからです。

そして20節に、弟子とされた者の喜びが語られています。**へしかし、霊どもがあなたがたに服従することを喜ぶのではなく、あなたがたに書き記されていることを喜ばなさい。」**がそうです。霊の戦いの働きに熱心になりますと、気をつけないと、すぐに悪霊からの解放をやってみたくなり、病気のいやしを祈り求めたくなります。「きょうは、○○さんが悪霊から解放されました」とか、「○○さんのために、祈ったら病がいやされた」と経験しましと、たしかに信仰的に燃やされます。ですが主イエスは、興奮気味になっている七十二人に対して、おっしゃいました。「しかし、**霊どもがあなたがたに服従することを喜ぶのではなく、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜ばなさい**」と。これを忘れてはなりません。私其の喜びは、主イエス・キリストを信じて、神と私たちを隔てていた罪が赦され、罪の問題から解放されたところにあります。